

造幣局と戦争 II 戦時下を生きた職員たち

令和7(2025)年は、太平洋戦争終結から80年目の年に当たります。造幣博物館では、戦時下の造幣局を当時の貨幣や記録と共に二期にわたって紹介する特別展を企画し、今回はそのⅡ期目となります。

日中戦争の開戦、太平洋戦争の勃発など、日本国内が戦争に向かって進んでいた時期、造幣局からも多くの職員が出征し、慢性的な人手不足となりました。また金属不足により、貨幣の製造が困難な時期もありました。そのような時代を、職員たちはどのように乗り越えたのでしょうか。

今回の特別展では、戦時下の造幣局で働く職員たちにスポットを当てています。変化する生活や業務内容、戦時中の職員育成、広島支局開設の経緯と原爆被害、そして大阪本局と東京支局の空襲被害などについて、これまで公開していない所蔵品や映像資料などを通じてご紹介します。さらに、令和5年に京都市内で発見された陶貨幣に関する調査内容もご紹介します。

本展を通して、戦時下を生きた職員たちの記録と造幣局の歴史についてお伝えできれば幸いです。



① 紀元二千六百年祝典記念章の制定を伝える新聞記事／② 昭和14年造幣局発行冊子「金を政府に売りませう」／③ 安全週間協賛ポスター入選作
④ 軍人傷痕記章／⑤ 昭和20年銘1銭錫亜鉛貨幣／⑥ 1銭陶貨幣／⑦ 昭和21年銘5銭錫貨幣／⑧ 昭和21年銘50銭黄銅貨幣

参加
無料

予約
不要

各種イベントのご案内

展示解説

学芸員が、特別展の解説を行います。
11時と14時30分からの1日2回実施します。

記録映像鑑賞会

紀元2600年(昭和15年)を記念して制作された記録映像です。当時の造幣局の作業風景などの貴重な映像を約1時間にわたって上映いたします。

缶バッジ製作

今回展示した貨幣などをデザインした缶バッジを作ります。缶バッジはお持ち帰りいただけます。

拓本体験

江戸時代や明治時代の古銭の拓本を取ります。完成した拓本は「しおり」にしてお持ち帰りいただけます。

鑄造体験

溶かした金属を鑄型に流し込み、富本銭や和同開珎のレプリカを造ります。完成したレプリカは体験された方のみお持ち帰りいただけます。参加対象は小中学生のみといたします。(小学校低学年の方は、保護者同伴での参加をお願いいたします。)

クイズラリー

館内の展示品に関するクイズを出題します。クイズに参加し、アンケートにお答えいただいた方には、カプセルトイマシンを回していただけます。



各種イベントの開催スケジュールは、下記 URL もしくは QR コードよりご確認ください。
https://www.mint.go.jp/enjoy/special-exhibition/special-exhibition-etc/enjoy-event-plant_special_250710.html

●各イベントへの参加は全て「無料」です。●各イベントへの参加予約は不要です。●イベントは都合により、変更、中止する場合がございます。

独立行政法人造幣局 造幣博物館

9:00~16:45(入館は16:00まで)
※毎週水曜日は休館日ですが、8/13(水)は開館いたします。



大阪市北区天満 1-1-79
TEL:06-6351-8509(直通)
<https://www.mint.go.jp>

アクセス: ご来館にあたっては公共交通機関をご利用ください。

- 京阪電鉄・大阪メトロ谷町線「天満橋駅」徒歩約15分
- 大阪メトロ堺筋線・谷町線「南森町駅」徒歩約15分
- JR 東西線「大阪天満宮駅」徒歩約15分
- JR 環状線「桜ノ宮駅」徒歩約15分